

向上の取り組み成果が見られる一方、家庭学習の少なさが課題である。

【幼児教育課】

Q 保育所統合後の保育士は。

A 大山・中山の拠点保育所では、各保育所で取り組んできた活動を生かし、新たな活動も取り入れながら、子どもたちの成長に合わせた保育を進めている。

【社会教育課】

Q 光をそぐ交付金で購入した、本の冊数や収納場所は。

A この交付金を利用して6151冊の本を購入した。あわせてこの交付金で、本棚を購入し、本館と分館に整理収納することができた。



保存地区をめざす所子集落

Q 所子伝統的建造物群の保存は。

A 集落の町並み調査の結果をもとに、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定へ向け、9月からは事業推進の集落同意を得るため、班ごとの詳細説明会を開催している。

経済建設 常任委員会

【観光工商課】

Q クロスカントリーの参加者が増えている。観光や消費につなげられないか。

A 走りに来るのが目的のイベントであり、観光につながるにはむずかしい。家族連れの人には喜ばれるので、イベントに合わせて「からす天狗市」を開催してもらっている。



参加者が増加しているクロスカントリー大会

【大山恵みの里公社】

Q 前専務理事が作り上げた体制は、今年度の運営に生かされているか。

A 前専務理事は、売り上げを重視して運営してきたので、

Q リフォーム助成で、経済効果が上がっているとの報告はあるが、個人の貯蓄や、企業の内部留保に直結していれば、波及効果が少ないので、調査するべきではないか。

A 企業側の調査は、商工会に頼んでいる。個人事業主の申告所得は増えている。個人の貯蓄は調べる方法がむずかしい。

資金繰りはよくなってきたが、大山町の生産物が売れる状況ではなかった。今年度は、町内産品が売れるように運営している。

【建設課】

Q 平成23年度の事業で今年度への繰り越しが多い理由は。

A 国からの補助金の交付決定が2月だった。交付決定が遅い関係で、繰り越し事業にせざるを得なかった。今回は、経済対策の臨時交付金もあつたので、遅い交付決定となった。

【水道課】

Q 開拓専用水道は、石綿管が使われているが、健康面は問題ないか。

A 石綿は、空中に粉じんとして飛散すれば健康面に問題があるが、現状の水道管としての使われ方では問題ない。

【農林水産課】

Q 政策の効果を判断するため、農業所得や農業従事者の増減数を決算ごとに出せないか。

A 認定農業者などに絞れば数字が出せそうだが、町民全体となるとむずかしい。

Q チャレンジプラン・6次産業化の推進・エコ農業などの事業が、農家所得の向上につながっているか、わかるデータを示せないか。

A 取り組む農家が少ない事業で数字を出すと、個人情報になる可能性もある。今後、検討していく。



ブロッコリーを収穫する新規就農者